

アメリカ相互関税問題におけるタイの動向 2025 年 6 月

タイ商務省の貿易交渉局は、米国との関税交渉がオンラインで開かれる可能性があることを明らかにしました。米国による相互関税の発動停止期限が7月9日に迫り、時間が限られている事が理由です。また22日には、タイと米国が関税交渉の開始に向けた正式な手順として、秘密保持協定を締結したことが明らかになりました。停止期限までの交渉実施に向けて大詰めとなっている状況です。

「FBC ものづくり商談会 2025 レポート」

今年も5月14日～17日にかけて工業用部品の調達・ビジネスマッチングに特化した「FBC ものづくり商談会バンコク会場」がSUBCON Thailand 2025、INTERMACH2025などと併催されました。そちらについてレポート致します。

昨年は開場式にセター首相（当時）が登壇し、大いに盛り上がりましたが、今年は副首相のピチャイ氏が登壇しました。ピチャイ氏は財務大臣も兼務、アメリカとの関税交渉を担当しており、実務面でのキーパーソンと言えます。

1. 出展・来場数について

FBC ものづくり商談会 出展社：57 社・66 ブース

SUBCON INTERMACH など同時開催を含む全体の出展社数： 586 社

バイヤー数：65 社

来場者数：46,259 名

今年の会場は昨年よりも1ホール分拡大している分、来場者が分散していましたが、最終的な来場者数は昨年対比で3%強アップとなりました。

2. FBC ものづくり商談会出展社の商談数等について（出展各社からのアンケート結果を集計）

	名刺交換数 (出展社・来場者)	商談数 (出展社・来場者)	有益だった商談数	推定販売金額 (THB)	推定調達金額 (THB)
1日目	1,186	260	110	15,225,824	10,213,572
2日目	1,218	255	128	10,618,024	80,433,643
3日目	1,433	182	100	1,449,080,000	153,000,000
4日目	1,049	148	98	17,188,650	20,135,426
4日間合計	4,886	845	436	1,492,112,498	263,782,641

（出展各社からの声）

・ピチャイ副首相の来場もあり来場者数は多く、場内の雰囲気も活気に満ちていた。会期全体を通じて注目度が高かった。

・金型製作や素材に関心を持つ様々な層との接点ができた。販路開拓や情報収集の場として非常に有効であった。

- ・初出展ながら、タイ人スタッフも楽しんで取り組めた。引き合いや名刺交換も想定以上で認知向上にもつながった。
- ・質の高いお客様を多く獲得し、具体的な商談に進む機会が多くありました。出展の価値を感じました。
- ・営業をかけていたが担当者にコンタクトができない企業の購買責任者にブースにお越しくださいました。関心をお持ちいただき、会期後に訪問予定になっている。展示会の醍醐味だと感じた。
- ・ローカル企業向けの PR を目的に出展。ローカル企業の来場者も多かったが、SUBCON エリアの出展企業からも多くの引き合いをいただいた。今回はマッチングシステムを利用しなかったが、来年は活用したい。
- ・海外からの来場者も多く通常の営業活動では中々接点を持つことが難しい出会いがあった。インド企業からは具体的な引合いをいくつかもらうことができた。来年も海外からの来場者にも期待したい。

また満足度については、「来年も出展したい」が 44%、「出展を検討したい」が 42%と高い満足度を記録する事となりました。

他方、昨年タイにおいては、中国系 EV メーカーのタイ進出が部品販路拡大の機会として大きな話題となり、実際に比亞迪汽車（BYD）、上海汽車（SAIC Motor-CP Co., Ltd.）、長城汽車（GWM）を始めとして 8 社のバイヤー出展がありました。ところが、今年は 1 社もバイヤー出展が見られませんでした。現在中国系 EV メーカーの一つ、NETA が「売り上げ不振からタイ事業を一時停止する」というニュースが大きな話題となっており、この傾向は継続する見込みです。



FBC ものづくり商談会の様子